

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 23年3月29日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4670102500号
法人名	医療法人 春風会
事業所名	グループホームはるかぜ西陵
所在地	鹿児島県鹿児島市西陵5丁目12-4 (電話) 099-282-2497
自己評価作成日	平成23年1月12日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kagoshima-kaigonet.com/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成23年2月4日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者を人生の先輩として尊敬し、また、時には家族のように接し、利用者が安心して、明るくはりのある生活を送ることが出来るように支援を行っている。また、利用者中心のケアに力をいれ、利用者の「できること」を伸ばし、一緒に家事参加やレクリエーションなどを行い、利用者の「できることを」一つでも多く見つけていくことに力を入れている。地域との交流にも力を入れており、運動会や文化祭見学、子供みこしやおはら祭りではホームの前で止まっていたき、踊っていただいたりと、地域の方々にもいろいろなご協力をいただいている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

鹿児島市郊外の団地に位置し、学校やクリニック、道路を挟んでスーパーもあり利便性に富んでいる。幹線道路沿いで通学路でもあるため毎朝子どもたちが元気に登校する様子が見られる。隣接する中学校の運動会・文化祭見学に出かけた時、おはら祭りの際は地域の踊り連がホーム前でも踊りを披露してくれるなど地域に溶け込んだグループホームである。歴史のある団地で住民の高齢化が進み、運営推進会議で地域の現況や困難事例の話し合いも行われ、地域の方への認知症ケアやアドバイスを含めた勉強会も行っている。災害時の協力関係は近隣の3ヵ所のグループホームと話し合われている。これまでの生活習慣を維持できるように現状に即した個別の介護計画を作成し、新聞購読、読書、編み物、買い物、家事参加など、個々の役割・機能の維持などより良く暮らせるように支援している。また、介護の知識と経験が豊富な職員が多く、質の高いサービスを提供している。利用者の表情が明るく、元気な歌声や笑い声が聞かれるグループホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	全職員で作上げた理念の中に地域の中で支えていくとの文言があり、全職員が利用者がアン視して生活できるよう支援していくことを念頭に置いている。	地域密着型サービスとしての意義を踏まえた理念を作成している。職員は毎朝申し送り時に唱和し、理念に沿ったケアの実践に取り組んでいる。理念は玄関ホール、事務室、エレベーターの中に掲示してパンフレット、重要事項説明書にも明記している	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に参加しており、運動会、夏祭り、文化祭などの学校や地域の行事などに積極的に参加し、ピアノ演奏会や踊りなどのボランティア受け入れにより地域の方々が多数来訪される。	小学校の廃品回収への参加や中学校の運動会・文化祭見学に出かけている。おはら祭りの際は地域の踊り連がホーム前でも披露してくれる。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	運営推進会議へ民生委員や町内会長などの方々に参加していただき、認知症についての勉強会などを実施している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域の方々や地域包括支援センター職員の方に参加していただき、ホームの現状や行事活動の報告、意見交換を行いサービスの向上に活かしている。	町内会長、民生委員、家族、行政などの参加を得て2ヵ月に1回開催している。ときには警察や消防署の方にも参加して頂くこともあり、多方面からの話し合いがなされている。地域の高齢者の現況や困難事例の話し合いも行われており、認知症ケアやアドバイスなども会議でとりあげることがある。	

鹿児島県 グループホームはるかぜ西陵 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域包括支援センター主催の地域ケア会議への参加や入居希望者の紹介をいただいたりと連携が取れている。また運営推進会議を通して事業所の実情などの報告を行っている。	日頃より、連携を図り、協力関係を築くように取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎月身体拘束委員会を行い、身体拘束にあたる行為などの研修を行っている。また、全職員で身体拘束ゼロに取り組んでいる。	身体拘束委員会の話し合いを勉強会を兼ねて毎月行っている。また、身体拘束を行わないホームの方針を契約書にも明記している。職員間の連携で日中は施錠などせずに安全で自由な暮らしを支援している。出て行く利用者には職員がさりげなくついて行き見守っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止マニュアルの作成や虐待についての研修を行い、全職員が虐待防止に取り組んでいる。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者自信が研修会や書籍等で権利擁護に関する制度について勉強行っている。これから職員への研修などを通して、制度利用の希望があれば活用していきたい。		

鹿児島県 グループホームはるかぜ西陵 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約の締結、解約、改定時の際は十分な説明を行っている。利用者家族へも不安や疑問点などがありましたら、いつでもお聞きくださいと声かけを行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>御家族の面会の機会にご意見を伺ったり、外部評価の家族アンケートを参考に意見の把握に努めています。また、忘年会の後などに家族会を実施し意見交換会を行っています。</p>	<p>日常的に面会時に話を聞き出すようにしている。また、忘年会、敬老会の際に懇談会を設けて家族から意見、要望を聞き出すようにしている。利用者からは日常の会話の中で意見、要望を引き出すようにしている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎月のミーティングに意見交換の場を設けている。また、管理者が随時職員より意見や提案を受けつけ、代表者に報告し運営に反映していただいている。</p>	<p>朝夕の申し送り時や毎月のミーティングで意見交換を行っている。入居については事前に職員に情報を提供して意見を聞いている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>研修や勉強会へ参加した職員への賞与査定や資格手当など各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>		

鹿児島県 グループホームはるかぜ西陵 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修費用を法人内での研修会や国家試験対策の勉強会など研修を受ける機会を機会の確保により、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>GH連絡評議会あり、認知症に関する講演会、行政の主催する会などに参加させていただき勉強しています。また、法人内での交流を通じて、サービスの質の向上に役立っています。</p>		

鹿児島県 グループホームはるかぜ西陵 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の話しをよく傾聴する事によりご本人の気持ちを引き出すように努めている。また、他利用者との橋渡しを行うことで、周りの利用者との関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族が施設利用を考えたいきさつや不安なこと、要望などを傾聴し、利用者にとってどんな生活が望ましいかを一緒に考えていけるようにしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談内容によっては、他の介護保健サービスや施設の紹介も行っています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	全職員が利用者を家族のように考え、一緒に笑い、慰めあうそんな支援を行っている。		

鹿児島県 グループホームはるかぜ西陵 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の面会時に、ご本人の最近の様子などを伝え、一緒に外出する機会などを設けていただいたりご家族と一緒にご本人を支えていく関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居後もご本人のお友達や知人の訪問があり、交流の支援を行っている。	友人が訪ねやすいように配慮している。幼馴染の利用者もあり、1階と2階で互いに訪ね合っている。自宅付近の散歩や地域の文化祭見学などなじみの人や場との関係継続の支援を行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一緒にテレビを見られたり、談話されたりとお互いに顔なじみ、お友達関係が築けている。また、交流が難しい方へは、職員が橋渡しとなり関係性の構築に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約の終了時に、いつでも相談に来てくださいとお伝えし、相談があれば応じています。また、退去先へ面会に行きご本人の様子を見に行ったりしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人の生活歴や性格などの情報収集はもちろんのこと、毎日のケアの中でご本人の気持ちをお聞きしている。また、困難な方は、表情などを読み取り、本人本位に検討している。	何をするにも本人の意思確認をしてから行うように心がけている。会話の中から思いや意向を把握し、困難な場合は表情、言動、家族や関係者からの情報などから本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前、入居後もご本人やご家族などから情報をいただき、これまでの生活の状況の把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ひとり一人の一日の過ごし方を職員は把握し、その人らしく生活ができるように支援している。また、毎朝のバイタルチェック時に心身状態の把握も一緒に行っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者の状況などを職員同士話し合い、本人や御家族の要望を取り入れながら、チームとしての方向性の明確なケアプラン作りに心掛けている。	機能の維持や生きがいのための役割などを課題に設け個別の介護計画を作成している。また、毎月、ケア会議を行って本人、家族の意見、要望、職員の意見、気付きなど反映させた現状に即した介護計画を作成している。	

鹿児島県 グループホームはるかぜ西陵 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日個別記録に気づいたことなどを記入しており、情報の共有を行っている。また、毎月末に実施記録を点検し、変化への対応へのアイデアなどが反映されるようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	訪問理容の活用やフットケアの活用など、本人やご家族の意向を伺い対応しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	介護タクシーの紹介などにより車椅子の方でもご家族との外出が楽しめるよう支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人やご家族の希望を大切に納得が得られたかかりつけ医と連携をとり、また、その他の医療機関とも連携し、適切な医療が受けられるよう支援している。	本人、家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。家族が連れていく際は受診後必ず結果を報告してもらっている。	

鹿児島県 グループホームはるかぜ西陵 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	母体である田上記念病院の看護師へ相談し、助言をいただいている。また、夜間や休日などは医師とのホットラインがあり、すぐに対応していただいている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	利用者が入院した際、入院の経過やご本人の状態などをお伝えしている。また、可能ならば、早期退院にむけて病院関係者と相談、連携を取っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化等により医療管理等が必要となった場合は、事業所で出来ることを十分に説明し、ご家族や医師と相談し、ご本人の希望を尊重した上で、ご家族、医師、看護師と連携をとり支援に取り組んでいる。	入居時に口頭でホームの方針を説明している。また、利用者の身体状況に応じて都度、家族と話し合っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	年に1回応急手当や初期対応についての研修を行っている。また、職員間で緊急時の対応方法など話題にし緊急時に備えている。		

鹿児島県 グループホームはるかぜ西陵 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>昼間、夜間帯を想定し年2回の避難訓練を行い、全職員が避難方法などしっかりと身につけている。また、周りの施設とも連携がとれている。</p>	<p>昼夜間想定で年2回避難訓練を行っている。また、自主訓練として地震訓練も行っている。地域の防災訓練にも参加しており、近隣のグループホーム3カ所との協力体制も話合われている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者のプライドやプライバシーには十分に配慮しています。また、ご本人を人生の先輩として尊敬した言葉かけや対応を行っています。	声かけのチェックリストを作成して定期的に確認している。ミーティングで接遇やプライバシーについて話をすることもあり、職員の資質の向上に向けて取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者との信頼関係を築き、ご本人が気軽に思いや希望を表せる関係性を築いている。また、常に希望や要望を聞くように心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ある程度規則正しい生活、張りのある生活を目指し、ご本人の心身状況により、柔軟に判断して、希望にそった支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	ご本人に洋服を選んでいただいたり、選択の困難な方でもその方の好きな色などを選ぶことにより、その人らしい身だしなみが出来る支援を行っている		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と一緒に野菜の皮むきや味見などしていただき、食後にはお盆ふきや台拭きなどしていただいている。	お茶碗洗い、片づけ、調理下ごしらえなど個々の力量に応じて職員と共に行っている。昔ながらの料理の作り方などアドバイスをもらうこともある。時には外食したり、個々の希望により献立を決めることもある。	

鹿児島県 グループホームはるかぜ西陵 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量を記録することで健康状態が把握できるようにしている。また、食事形態の工夫、好みの飲み物などの提供により栄養、水分量の確保を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアを実施している。また、ひとり一人の状態に応じ支援方法を変えて実施している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	ひとり一人の排泄パターンや習慣を全職員が理解し、時間の間隔などをみながら、声かけや支援を行っている。	排せつチェック表を作成して個々の排せつパターンを把握し、個々の身体状況に応じて排せつの支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	献立に野菜を多く取り入れ、排泄チェック表を活用し、便秘がつづいている方には、水分を多くとっていただいている。また、体操や廊下歩行等の運動も取り入れている。		

鹿児島県 グループホームはるかぜ西陵 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴に対する意向をお聞きしつつ、入浴を楽しんでいただいている。一番風呂が好きな方には一番に入らせていただいている。	基本的には週3日であるが、希望があれば毎日の入浴も可能で個々に応じた入浴の支援を行っている。自立している利用者もおり、職員の見守りで安心して安全な入浴を支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	必要に応じ、日中でも休息の時間を設けるようにしている。夜間に眠れない方には、しばらく付き添い安心して眠れるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者の薬の薬情報の確認を全職員行っている。また、薬の変更や追加があった場合はしっかりと申し送りを行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	野菜の皮むきや台拭き、洗濯物たたみなど家事参加されたり、パズルや体操などのレクへ参加されている。また、夕食後に晩酌をされる方もおられる。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	その日の希望にそっての外出はできていないが、近くの公園への散歩や近くのスーパーへの買い物を行っている。また、地域行事への参加も積極的に行っている。	日常的には散歩や買い物などに出かけている。また、季節を感じられるように地域行事や花見、外食なども楽しんでいる。	

鹿児島県 グループホームはるかぜ西陵 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭管理のできる利用者は、ご本人でお金をもたれている。また、一緒に買い物に行きその中から支払いをされている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>自由に電話や手紙のやりとりができる支援を行っている。また季節ごとに暑中お見舞いや年賀状などを出しています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関や廊下に花や飾り付けを行うことにより、季節感を感じるような環境作りを行っている。また、夕方など光が強く差し込む時は、カーテンを部分的に締めたり、温・湿度計を確認し温度や湿度管理を行っている。</p>	<p>共用空間は広く和室もある。道路に面して窓が大きく作られているため景観が良く開放感がある。リビングにはソファやお気に入りのイスが置かれ利用者は思い思いの場所でくつろいでいる。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>窓ガラスの近くにソファを配置し日向ぼっこをされたり、ホール内の畳スペースやテレビ前にソファを配置し、利用者同士で思い思いに過ごされている。</p>		

鹿児島県 グループホームはるかぜ西陵 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご本人の使い慣れた物や家族の写真、ぬいぐるみなど好みの物を飾り、ご本人が居心地よく過ごせる工夫ができています。</p>	<p>家族の写真、位牌、本、ぬいぐるみ、タンス、ソファ、イス、テレビ、鏡台など好みのものや使い慣れたものが持ち込まれている。家具の配置など本人、家族と話し合い、居心地良く過ごせるような居室作りがなされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>廊下、浴室、トイレなど手すりを取り付けてあり、立位や移動の自立に繋がっている。また、トイレや浴室、居室に分かりやすいように、表札を取り付けている。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

鹿児島県 グループホームはるかぜ西陵 1ユニット

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

鹿児島県 グループホームはるかぜ西陵 1ユニット

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない